



さんぶ

第25号
2012年
夏号



近隣作業所交流会開催

5月2日(水)さんぶの森中央体育館にて、芝山町福祉作業所・横芝光町福祉作業所・山武市の成東・松尾・山武の3つの福祉作業所、計5つの福祉作業所による交流レクリエーション大会が開かれました。玉入れや、パン食い競争など、楽しい1日を過ごしました。

主なもくじ

奮闘記～あなたを応援したいから～	②	平成 24 年度事業計画・予算	⑥
さんむくんが行く! 施設紹介	③	平成 23 年度事業報告・決算	⑦
地域だより 松尾地域・成東地域	④	社協会員募集・ゴールドクラブ便り	⑧
蓮沼地域・山武地域	⑤	事業所紹介“きらきら幼児教室”	⑨
		インフォメーション	⑩



奮闘記

～あなたを応援したいから～NO.5



奮闘とは、“力いっぱい努力すること！”
8名の『きずな編集委員』が、地域に密着した、さまざまな活動をされている皆さんの“影の力”を紹介しします。今回は、早船里山の会会長の實川征吾さんです。

私の夢（桜の山）

早船里山の会会長 實川征吾

だれでも、生涯夢と希望を抱きお過ごしのことと思います。

私の大きな夢は、早船台地に1,000本の桜とアジサイを沢山植え、観光名所にする事です。

ただ、この夢は、自分一人の力では達成することは出来ません。大勢の方々との支援と長い年月が必要です。早船里山の会を立ち上げ7年目を迎え、桜500本、アジサイ350本、その他モミジ、クヌギ、ナラ、梅、柿等1,200本植樹いたしました。面積は約3ヘクタール、会員数は35名です。私の夢のきっかけは、バブルがはじけ、早船里山も何十年と人手が入らず荒れ放題の状況となっており、この状況をなんとか昔の里山にしたいとの思いからです。昭和30年後半までは、農地も山林もきれいに整備され、小鳥や草木も、人と共存してまいりました。私達、先祖が何百年とこの里山を守ってきてくれたことによるものです。

しかし、現在は荒れ放題の状況となっていることは、地域としても大きな損失であるとの思いからです。このような考えをしていた時、長野県高遠の桜見物があり、城山全体が桜一色又、見物客も多くそれは見事でした。これにヒントを得て、早船台地に桜を植え、観光名所にしようとしたのが夢の始まりでした。このことを知人、友人に語ったら、応援するのでやってみたらとのことで簡単に考え始めました。いざ始めると荒れ放題の土地を切り開くのは、容易ではなく、大勢の方々から汗だくとなり、長期間桜の植栽する場所の確保に努めました。この作業で杉の木500本と篠竹を伐採し、五反歩ほど確保しました。

その後順次荒地を切り開き、桜500本ほど植樹するとともに、併せてアジサイ、クヌギ、ナラ、モミジ等も植樹しました。現在の子供達は、森や山の自然にふれる機会が少なくなっておりますが、里山で自分達で体験し、草木の観賞、小鳥の声を聞くなど肌で感じ、身近なものにしてもらえることを願っています。その一環として、桜の苗木を大富小学校生徒に記念樹として、毎年植樹しております。

景観植物が年々大きくなり、花も見事に咲くようになり、又、里山全体の整備も進み、きれいになったことにより、訪れる人達も増えてまいりました。しかしその反面草刈り等を常時していつもきれいにしておく必要があり、大変な作業となっております。又里山に来てくれる人がいないのもこれまた寂しいです。

最近では、里山を中心とした森林遊歩道を活用し、森林浴や里山コンサートなど開催し、健康増進にも力を入れております。

昨年の東日本大震災を機に、人への温かさ、つながり、生きる力の大切さを認識しました。また、早船里山の会でも、3年前からひとり暮らし高齢者や障がい者及び高齢の方々に、里山コンサートを通し、悩み、苦しみごと又、楽しいことが話しの出来る場所として提供しております。

里山コンサートも参加者全員が主役と言うことで、皆んなで童謡を歌いストレス等の解消をするとともに、秋の味覚のサツマイモ、クリ、サトイモ等を食べながら行い、毎年好評で参加して下さる人も増えています。

早船里山の会も発足してから6年が経過し、荒地も整備され、始める前とは見違えるほどきれいになりましたが、最重要課題は継続していくことです。そのためには後継者や資金不足、作業員のケガの保障、また会員自体が高齢化のため、草刈機等使用不可能となってきたので、新たな大型機械の導入を図っていくこと等課題となっております。しかしこの困難を乗り越え、これからも早船里山が皆さんから愛される、また親しまれる森として、昔から共存していた動植物の育成に努めてまいります。これらを行うことにより、きれいな空気、水の確保等も併せて出来ます。こうした活動を現在行っておりますが、課題も多く、又、長期間に亘るため、自分達の時代に達成出来なくとも、50年、100年後、私の夢が達成し、子ども、孫に良い物を残してくれたと喜んでもらえたら最高です。私はこの夢に向かって色々なことを学びました。それは人と人とのつながりや、人への思いやりの心、温かさや信頼を大切にすることです。私の夢の実現に向かって、大勢の方々から汗をかき、ボランティアで支援下さっていることに感謝しております。

最初は簡単に考え、桜の山はきれいだなあと取り組みましたが、実際に行ってみると、たくさんの困難もあり大変ですが、人生最後まであきらめないで、という気持ちで頑張っていきたいと思っております。



こんなに苦労をして出来た里山とは思っていませんでした。私も荒地を開墾したことがありますが、なかなか大変な仕事です。

この苦労は実際に行った人でなければ分からないと思いますが、誰にも出来ない大きな夢が現実的に実ったと思います。これからも地域の方々や長野県の高遠の桜のような名所になるように頑張ってもらえる事をお願いします。（ご苦労さまです）（成東地域委員 宮野）

さんむくんが
行く!

施設めぐり No.1

特別養護老人ホーム 海



うっとおしい梅雨の時期ですが、みなさんお元気ですか？
じゅじゅした気持ちを吹き飛ばしてしまおうと、事業紹介に
かわり今回から『施設めぐり』の始まりです。
市内に、特別養護老人ホームが4カ所あるのを知っていますか？
初回は、蓮沼地域にある特別養護老人ホーム“海”を訪ねてみました。



施設めぐりin 海(蓮沼地域)

白亜の館の玄関を入ると、明るい雰囲気フロアが広がって
いました。
早速、秋葉施設長さんにぼくが直撃インタビューしました！

Q1. “海”はいつ開設したんですか？



A1. 先々の高齢化社会が懸念され始めた平成9年に、介護や機能訓練をとおして地域に貢献したく開設しました。

Q2. どういう人達が、利用できるのですか？

A2. 入所は、寝たきりや認知症で常時介護が必要で、自宅では介護が困難な人が食事、入浴などの介護や機能訓練などのサービスを受けながら生活することができます。また、デイサービスでは、家族が手を休めたい時などに日帰りで利用できます。



Q3. 定員は何人ですか？



A3. 入所定員は56名で、少人数グループに分けて行き届いたケアをしています。グループは“海”にちなんで「イルカ」「くじら」…と言った名前をつけています。
デイサービスは月曜日から金曜日までで、1日20名程の方が利用しています。

Q4. 楽しい行事や施設の特徴を教えてください。

A4. 5月運動会、7月納涼会、9月敬老会、12月クリスマス忘年会と入所者と家族の方が一緒に楽しい時間を過ごします。また、毎月1回入所者との意見交換会(はつらつの会)を行っており、入所者の声を直接聞いてサービスの向上、改善を目指しています。これは当施設の『目玉』です。

運動会などの行事にはたくさんの家族の方々が来てくださいますが、ボランティアさんの来訪が少ないので、話し相手や娯楽系のボランティアの方がたくさん来てくださるようお願いいたします。



はつらつの会の様子



5月19日に運動会が開催されました。



特別養護老人ホームって、おじいちゃんやおばあちゃんがいるお家の人じゃないといけないのかなって思ってたんだ～。早速、ぼくもボランティアにしてみようかなあ～。

世代間交流グラウンドゴルフ交流会

大平地区社協

松尾地域

平成23年11月22日(火)午前中、大平小学校の運動場でグラウンドゴルフ交流会を行いました。参加者は大平小学校の増田校長先生、4年生の皆さんと担任の藤川先生そして大平地区社協福祉推進員等あわせて45名です。グラウンドゴルフクラブの会員と思われる方々が先頭に立って、グラウンドにコースを作り上げていただいた後、開会式を行い渡邊会長から競技方法の説明があり、競技を開始しました。

全部で8ホールであったと思いますが、各ホールにグループが分かれて一斉にスタートしました。昨年のグラウンドゴルフの大会ではうまく当たらなかったのですが、今回は上手に当たりました。少しうまくなったなと思っていましたら、4年生が更に上手に打っていました、更に心を締めつけてゲームに取り組みました。ロングホールも上手に打って、ホール近くまでよることが多くなりましたが、近くによってからの処理がうまくいかず、打数をかなり増やしてしまいました。

一方、4年生のライバルは長い距離は上手に打ち、ホール近くによっても上手です。かなり差をつけられたまま、最終ホ



よろしくお願いま～す。



ホールインワンがでるかな？

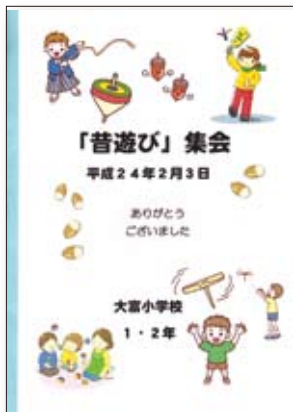
ルへ一歩一歩近づいてまいりました。最終ホールを終えてみると4年生のライバルの勝利に終わりました。練習を重ねる年に備えます。

(大平地区社協福祉推進員 秋庭 春夫)

成東地域

「昔のあそび」で小学生との交流

大富地区社協



寒さが厳しい2月3日に大富小学校体育館で行った、世代間交流「昔のあそび」体験学習支援について紹介します。

1、2年生が対象で40名の児童が6班に分かれて各コーナー8分〜10分で音楽の合図で移動します。種目は竹とんぼ、どんぐりや数珠玉、ビーズを使ったネットクレス作り、お手玉、羽根つき、どんぐりゴマや大コマまわしなど6つのあそびが体験できます。どのコーナーでも最初はとまどっている子ども達も数分するとコツをつかみうまくできた時の嬉しそうな顔・顔・笑顔・・・。

気がつくとかメラやビデオで撮っていた父兄の皆さんも私達推進員も童心にかえり大いにハッスル、どのコーナーも大盛況でしたが、事前準備も大変で前年の秋から始まります。とうじの実(まてば椎の実)や数珠玉(別名唐麦



福祉推進員に届いた「宝物」



この日を待っていました！

の実)の確保と穴あけ、プレゼント用の竹とんぼ(1年生のみ)の作り置き等々、一苦労だが「昔のあそび」が終わって数日後に推進員全員に送られてくる子ども達からの「お札の手紙全集」は読むたびに心が温かくなり推進員でなければ味わえない何よりのプレゼントで私達の宝物です。

(大富地区社協福祉推進員 長谷川 博信)

蓮沼地域

ゴールドクラブ蓮沼支部総会によせて ゴールドクラブ蓮沼支部

なくなり、会員も楽しみをうばわれて皆ガツカリでした。でも小雨降る中、多数集まり暫くぶりの顔ぶれに話の花を咲かせ、総会も賑やかにそして楽しく進



総会風景

五月雨、五月晴、鯉のぼり、薫風の気持ちよいこの季節ですが、今年是不安定な天候にてすべての行動や活動がままなりません。

今年のゴールドクラブ蓮沼支部の総会が、5月22日(火)蓮沼スポーツプラザ『しおさい館』で開催されました。同時開催予定のグラウンドゴルフ交流会は、前日迄の好天と打って変わり、朝から小雨模様で中止せざるを得



める事ができました。そして今年も昨年のようなひまわりの栽培を会員総出で行う事になりました。真夏の太陽下、大輪の花を咲かせるひまわりの様に年はとつても気持ちは若く元気にそして愉快に、野に咲く花のように、という言葉もあります。夢を諦めずこれからも笑顔で過ごせるゴールドクラブになれる様、会員のみならず一緒に頑張る行こうと思っています。

(山武市ゴールドクラブ連合会 蓮沼支部 支部長 小川 浩)

24年度に向けて、楽しい行事の数々を。

睦岡地区社協

山武地域

去る4月28日、平成24年度睦岡地区社協総会が行われました。

23年度事業報告・収支決算・監査報告に続き、24年度事業計画・収支予算が承認され、その他活動方法についての提案等、活発に意見が交わされました。

世代間交流の促進・地区社協内のネットワークの強化・福祉推進員の自己意識を高める等を目標に、年間計画に基づき各部会ごとに行事を進めていきます。

5月8日には、早速第1回睦小グラウンドゴルフクラブ活動に協力し、子ども達と共に楽しんできました。また、6月5日には地域の高齢者と共に日帰り旅行に出掛け、谷津バラ園を見学し、浅草散策を楽しんできました。

今後は、地域まもりサービス・地域交流食事会・バザー・睦小フェスティバル協力等、地域に密着した社協活動となるべく、推進員一同協力し合っていきたいと思えます。

(睦岡地区社協福祉推進員

佐藤 玉子)



東京の新名所!! スカイツリーをバックに。

平成24年度事業計画

○基本方針○

5か年計画である「地域福祉活動計画」の3年目の評価を踏まえ、「誰もが、ありのままに・その人らしく、地域で暮らすことができる」地域社会の実現に向け、地域に密着した事業を実施するとともに、住民参加や協働による福祉活動の支援、福祉のまちづくりや地域コミュニティづくりに取り組みます。

また、福祉サービスのより一層の充実及び地域福祉活動を推進するために、組織理念・機能の再認識と強化を図りながら活動していきます。

主な事業実施計画

1.住民ニーズ・福祉課題の解決に向けた仕組みづくり推進

●地域福祉活動計画の推進

2.市民の福祉意識高揚と社会福祉協議会の理解者づくり推進

●広報・啓発活動の実施

- 社協広報誌の発行
- 社協リーフレット・チラシの作成
- 社協ホームページの活用
- 社会福祉大会の開催
- 福祉イベントの開催

3.市民を中心とした参加型福祉コミュニティづくり推進

●地域福祉活動の推進

- 地区社協活動支援事業
- ふれあいいきいきサロン支援事業
- 地域みまもりサービス事業
- 親子ふれあい事業
- 福祉活動団体支援事業
- 福祉のこころづくり講座の開催
- マイクロバス貸出事業

●住民参加型在宅福祉サービス事業の推進

- 福祉輸送サービス事業
- 住民参加型在宅福祉(家事援助)サービス事業

●共同募金運動・日本赤十字社資募集運動への協力

4.新しい福祉活動の担い手づくり推進

●ボランティア・市民活動の推進

- ボランティア・市民活動センターの運営
- ボランティア講座の開催
- ボランティア・市民活動体験学習の開催
- ボランティア広報・情報誌の発行
- おもちゃ図書館事業

●福祉教育の推進

- 福祉教材貸出事業
- 福祉体験学習の開催



5.誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

●総合相談事業の推進

- 心配ごと相談・弁護士相談事業
- 福祉資金貸付事業

●福祉サービス利用援助事業の推進

- 広域後見支援センターの運営

●日常生活支援事業の推進

- ホームヘルプサービス事業
- 介護者リフレッシュ事業
- みんなの介護スクール事業
- おとこの料理教室事業
- 外出困難者生活支援事業
- 有料配食サービス事業
- 福祉カー貸出事業
- 福祉用具等貸出事業
- 歳末たすけあい事業

●災害対策と災害当事者への支援事業の実施

- 交通遺児援護基金
- 防災ネットワークの構築
- 災害見舞金

●指定管理施設の管理・運営

- 山武市福祉作業所の経営(3か所)
- 山武市簡易マザーズホームの経営
- 山武市成東老人福祉センターの経営
- 山武市山武福祉センターの経営

●介護保険・障害者自立支援事業の推進

6.関係団体との協働体制の拡充

●関係団体支援事業及び連携強化

- 山武市ゴールドクラブ連合会の運営支援
- 山武市身体障害者福祉会の運営支援
- 山武市手をつなぐ親の会の運営支援
- 山武市赤十字奉仕団の運営支援
- 山武市ボランティア連絡協議会の運営支援

7.社協組織の基盤強化

●財政基盤整備事業

- 社協会員募集事業
- チャリティーイベントの開催
- 社協役職員スキルアップ事業

◆役員紹介◆

その後新しく役員となられた方をご紹介します。

本協議会運営の一層の充実を図るためお力添えをお願いいたします。

(任期：平成26年3月27日まで)

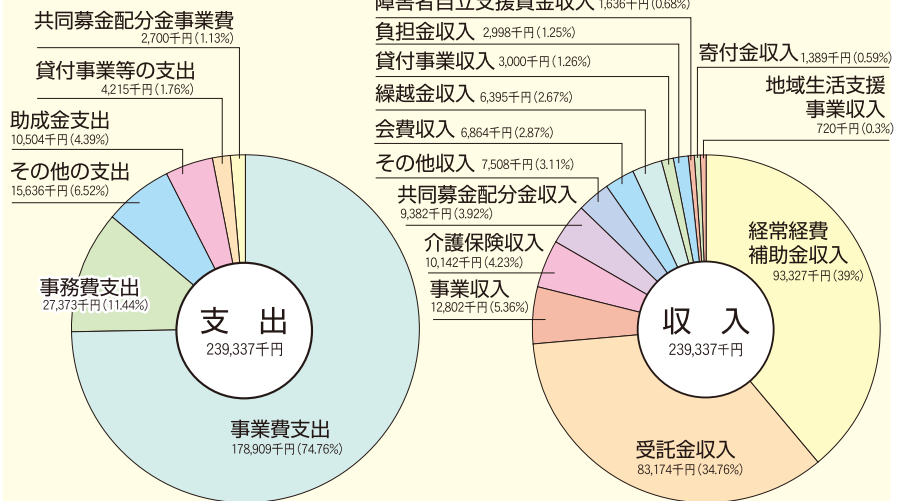
- 就任
- 理事 伊藤 勝之氏 (行政)
 - 理事 今関 紘氏 (連沼)
 - 評議員 川島 政孝氏 (学校)
 - 評議員 鶴井 洋一氏 (学校)

退任されました皆様には、本協議会の発展のため多大なるご尽力をいただき厚くお礼申し上げます。今後とも社会福祉活動の推進に一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

- 退任
- 川島 勝喜氏 (理事)
 - 雨宮 健一氏 (理事)
 - 南風野善克氏 (評議員)
 - 足立 信雄氏 (評議員)

平成24年度一般会計収支予算

(単位:千円)



平成23年度主な事業報告

1.住民ニーズ・福祉課題の解決に向けたしくみづくり推進

- 地域福祉活動計画の推進
- 住民福祉座談会の開催 8か所 延べ参加人数235名

2.市民の福祉意識高揚と社会福祉協議会の理解者づくり推進

- 広報・啓発活動の実施
- 社協広報誌の発行 4回
- 山武市社会福祉大会の開催
- 山武市健康福祉まじりの開催

3.市民を中心とした参加型福祉コミュニティづくり推進

- 地区社協活動の推進 14地区
- ふれあいいきいきサロンの開催 38サロン設置
- 地域みまもりサービス事業 36回実施 (延べ利用者数391名)
- 親子ふれあい事業 1回
- 福祉のこころづくり講座 全4回 延べ参加人数30名
- マイクロバス貸出事業 72回
- 福祉輸送サービス事業 利用会員164名 協力会員44名 延べ活動回数3,312回
- 住民参加型(家事援助)サービス事業 利用会員49名 協力会員30名 延べ活動回数793回
- 共同募金運動・日本赤十字社資募集運動への協力



4.新しい福祉活動の担い手づくり推進

- ボランティア市民活動の推進
- ボランティア登録者 75グループ1,159名 個人175名 災害V5名 合計1,339名
- ボランティア・市民活動講座の開催 (9講座実施)
- おもちゃ図書館事業の実施 (3か所 開館日数33日延べ利用者数421名 ボランティア76名)
- 継続災害支援ボランティア活動 (2日間 延べ参加人数45名)
- 東北復興支援ボランティアバスの運行 (3回 延べ参加人数62名)
- 福祉教育の推進
- 福祉体験学習への協力 (9校 延べ日数22日)



5.誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

- 総合相談事業の推進
- 一般相談(開設日数 56日 相談件数 78件)
- 弁護士相談(開設日数 47日 相談件数 286件)
- 福祉資金貸付(緊急援護費22件 生活援護費1件)
- 生活福祉資金貸付(県社協福祉資金 51件)
- 特別応急援護費交付(1件)
- 福祉サービス利用援助事業の推進
- さんむ広域後見支援センター契約者総数 35名
- 相談・訪問調査 延べ回数 542回

●日常生活支援事業の推進

- 有料配食サービス事業 利用者数57名 延べ配食回数2,547回
- 福祉カー貸付事業 815回
- 福祉用具等貸出事業 158件
- 介護者リフレッシュ事業 3回 延べ参加人数25名
- みんなの介護スクール 3回 延べ参加人数49名
- おとこの料理教室 32回 延べ参加人数310名

●災害対策と災害当事者への支援事業の実施

- 交通遺児援護基金 2件
- 災害(火災)見舞金 全焼4件 半焼1件(日赤物資提供)
- 東日本大震災にかかる災害見舞金等【見舞金】全壊27件 半壊257件 【弔慰金】1件
- 被災地社会福祉協議会支援 福島県相馬市災害ボランティアセンター 5日間 1名 福島県いわき市社会福祉協議会 6日間 1名

●指定管理施設の管理・運営

- 山武市福祉作業所の経営(3か所) 契約者数41名
- 山武市簡易マザーズホームの経営 契約者数50名
- 山武市成東老人福祉センターの経営
- 山武市山武福祉センターの経営

●介護保険・障害者自立支援事業の推進

- 訪問介護員派遣事業(介護保険制度) 延べ件数2,950件
- 訪問介護員派遣事業(障害者自立支援制度) 延べ件数295件
- 地域生活支援事業(移動支援) 延べ件数194件

6.関係団体との協働体制の拡充

●関係団体支援事業及び連携強化

- 山武市ボランティア連絡協議会の運営支援
- 山武市身体障害者福祉会の運営支援
- 山武市手をつなぐ親の会の運営支援
- 山武市災害ネットワーク準備会の運営支援
- 山武市赤十字奉仕団の運営支援
- 山武市ゴールドクラブ連合会の運営支援

7.社協組織の基盤強化

●財政基盤整備事業の実施

- 社協会員募集事業(実績は8ページに掲載)
- チャリティーゴルフ大会の開催 参加者数127名 寄付金:186,394円 (内50,000円を東日本大震災義援金として送金)

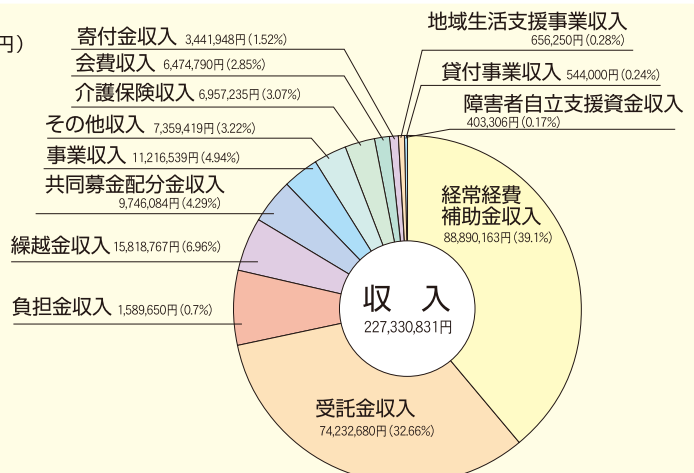
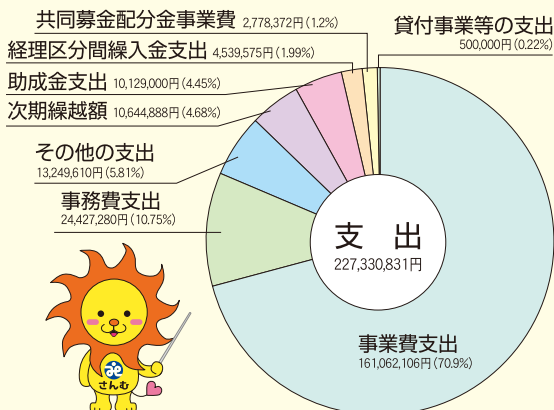
●社協役職員スキルアップ事業

- 役員視察研修の実施(富士宮市社会福祉協議会)
- 職員研修の実施 2回

●その他

- 社会福祉現場実習生の受入れ
- 視察の受入れ(鴨川市東条地区社会福祉協議会)

平成23年度一般会計収支決算 (単位:円)



～社協及び市内14地区社協事業は、皆様からの会費に支えられています。～

平成24年度社会福祉協議会会員只今、募集中!!

本会は営利を目的としないため、会費・補助金・委託金などを財源として運営しています。その中でも市民の皆様からの会費は、財源の大きな柱となっています。

本会の趣旨に賛同いただき会費を納めることにより、地域福祉事業の担い手となっていただきますようお願いいたします。



平成23年度実績 ～たくさんのご賛同、ご協力をありがとうございました。～

種類	会費額(1口あたり)	対象
一般会員	500円	市内各世帯
賛助会員	1,000円	個人等
特別会員	5,000円	会社・法人等

種類	件数	実績額	備考
一般会員	12,240件	6,032,490円	市内各世帯
賛助会員	3件	12,000円	
特別会員	1件	5,000円	八起産業
総計		6,049,490円	

(敬称略)

こころ・きらきら ゴールドクラブ便り



総会の様子



会員の皆さん

山武市ゴールドクラブ連合会総会開催報告

山武市ゴールドクラブ連合会(鈴木愛伯会長)の平成24年度総会が4月26日、同市成東文化会館「のぎくプラザ」で100余人が出席し開催されました。午後1時30分、小川浩副会長の開会のことばで始まり、鈴木会長の歓迎、現況報告等のあいさつに続き来賓の山本三夫副市長、萩原善和市議会議員、そして金杉等社協会長の祝辞、長谷川晃広保健福祉部長の紹介のあと議事に入り、23年度事業報告及び決算報告、24年度事業計画(案)及び予算(案)、会則一部変更、役員改選については留任とすべて可決承認され閉会となりました。新しい事業として『コミュニティサイト(山武市ゴールドクラブ連合会ホームページ)』を開設しましたのでどうぞご覧ください。(ホームページアドレス <http://rouren.jp/sanmu/>)

総会終了後、場所を2階に移し、専門部会合同会議を設け、それぞれ担当事業を確認し話し合いました。

(女性活動部会 秋葉 昭子)

ボランティアセンターからのお知らせ

さんむ自然探険バスツアー

～平成24年度 環境ボランティア講座～

山武市の自然環境を見直すきっかけに自然探険バスツアーを企画しました。みなさん参加してみませんか!

日時 8月11日(土曜日) 9時30分～15時30分

集合 山武市役所前駐車場 午前9時

参加対象 子ども～大人

(注:小学生以下は親子で)

参加費 ひとり500円(含弁当代)

募集人員 先着20名

持ち物 飲み物、タオル、長靴など



夏休みボランティア体験教室

～あなたも“ボランティア”してみませんか～

山武市ボランティア・市民活動センターでは、夏休みの期間中にみんな(対象:小学4年生～高校生)が楽しみながらボランティア体験するプログラムを企画しました。

この夏「ボランティア体験をしてみたい。」と感じたら、お気軽にお問合せください。待ってま～す。

◎体験プログラムのパンフレットは、各学校を通じて配布いたします。

◎市役所や図書館など公共施設にも置かせていただきますのでご覧ください。



《お申込み・問合せ先》 山武市ボランティア・市民活動センター(山武市社協山武連絡所内) ☎0475-89-2121

事業所
紹介

～山武市簡易マザーズホーム～

きらきら幼児教室

こんにちは！山武市簡易マザーズホーム「きらきら幼児教室」です！！
マザーズホームには4つのクラスがあり、成長や発達に心配のあるお子さんといっしょにいろいろな遊びや規則正しい生活を繰り返すことにより、心と身体を育てることを目的として、運営しています。

お問合せは ☎0475(82)0063

クラスの紹介



たんぽぽクラス

いろいろな遊びや経験を重ねながら、日常生活における基本的動作を習得し、集団に適應できる力を育てていきます。

- 利用対象 0歳～就学前の幼児
- 利用日 月曜日～金曜日 (祝日は除く)
- 利用時間 9:30～14:00



おひさまクラス

こうせい

体力・筋力・バランス・巧緻性の向上を目指し、一般的な運動能力を伸ばす支援を行います。また、集団活動を通し機能向上や社会性(情緒)を育てていきます。

- 利用対象 小学1年生～3年生
- 利用日 毎週1回 木曜日
- 利用時間 16:00～17:00



みつばちクラス



お子さんの個々の能力を育むために、個別指導・グループ指導をすすめていきます。

《個別指導》

担当とお子さんとの1対1のかかわりの中で、その子にあったプログラムを楽しみながら、課題(ことば・文字・数など)に取り組みます。

《グループ指導》

お友達と職員と楽しく遊びながら社会性を伸ばし、こころの豊かな育みをめざします。

- 利用対象 小学1年生～小学3年生
- 利用日 個別指導 月2回 30分/回
グループ指導 月2回 50分/回
- 利用時間 14:30～17:00
※時間内で、各自の時間を調整します。



PT(理学療法)クラス

理学療法士による機能回復訓練を、個別事業として行っています。

- 利用対象 幼児～18歳
- 利用日 月2回(予約制) ○利用時間 30分/回

善意をありがとう

～平成24年4月1日から平成24年5月31日までの受付分～ (順不同・敬称略)



◆お金のご寄附(含む1円玉募金)◆

大室 皐100,000 円
市原 貞夫200,000 円
蓮沼商業振興協同組合6,300 円
成東中学校生徒会 会長 小川慶也50,000 円
會田 トシエ15,050 円

日蓮宗千葉県東部宗務所 宗務所長 富永 観瑞 ...100,000 円
山武市芸文協 カラオケ部会 代表 鈴木 愛伯30,000 円

◆自動販売機募金◆

日本ペプシコーラ販売(株)788 円
*さんぶの森公園に設置されているペプシコーラ自動販売機の販売本数1本につき2円寄附されます

共同募金東日本大震災災害義援金 ～平成24年4月1日から平成24年5月31日までの受付分～ (順不同・敬称略)

桜めぐりハイキング実行委員会委員長 行木 静 4,528 円
人形劇すぎのこ 39,221 円 匿名 10,000 円
※集まりました義援金は、共同募金会へ送金させていただきました。

赤十字活動資金へのご協力をお願いいたします。

～これからも命を救う活動を続けていくために～

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを基本的な使命として、災害救護活動をはじめ、ボランティア活動、医療事業、血液事業や世界の各地で多発する紛争・災害等の緊急救援活動、開発支援事業などの人道的活動を展開しています。

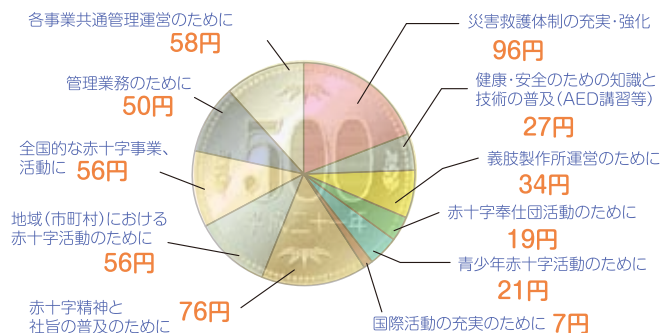
また、身近なところでは、火災による家屋被害や台風による床上浸水等の発生時には、災害見舞金や毛布、バスタオル等の配布も行っています。

このような赤十字の諸活動は、市民の皆様や法人企業様からお寄せいただく寄附金や社費(会費)によって支えられています。

現在、社資募集期間として実施させていただいておりますので、趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いいたします。

【平成23年度実績報告】

一般戸別・個人	11,958件	5,979,000円	合計
法人	224件	691,000円	
その他	12件	5,435円	6,675,435円



第7回 健康福祉まつり スタッフ募集



今年も健康福祉まつりを開催します。

みんなで福祉について考え、誰もが楽しみながら参加できるイベントにするためスタッフを募集します。スタッフみんなで話し合い、開催に向けてそれぞれ準備をすすめていきます。関心のある方は、社会福祉協議会までご連絡ください。
スタッフは随時募集しています！

総務班
イベントの広報など

ステージ運営班
ステージでの企画など

会場運営班
会場内の企画など

社協イベントスケジュール

月	日	行事名
7月	5	おとこの料理教室 (蓮沼)
	10	おとこの料理教室 (成東)
	13	地域みまもりサービス (山武)
	17	地域みまもりサービス (成東)
	18	おとこの料理教室 (松尾)
	24	おとこの料理教室 (山武)
8月	25	地域みまもりサービス (松尾)
	10	地域みまもりサービス (山武)
	21	地域みまもりサービス (成東)
	22	地域みまもりサービス (松尾)
9月	28	おとこの料理教室 (山武)
	11	おとこの料理教室 (山武)
	12	おとこの料理教室 (松尾)
	14	地域みまもりサービス (山武)
	18	地域みまもりサービス (成東)
	20	おとこの料理教室 (蓮沼)
	26	地域みまもりサービス (松尾)

みんなの介護スクール

日時 7月28日(土) 午前10時～11時30分
場所 山武福祉センター(山武市埴谷1868-14)
内容 ・介護保険サービスの上手な使い方
・介護保険サービスに関する相談窓口の紹介他
講師 山武市介護支援専門員連絡会
居宅介護支援センター北総長寿苑
ケアマネージャー 秋葉 美和氏
対象者 山武市在住で介護に関心のある方
参加費 無料
申込締切 7月25日(水)

介護者リフレッシュ茶話会

お茶を飲みながら楽しくお喋りをして、日常の不安やストレスを吹きとばしましょう！

日時 7月28日(土) 午後1時30分～3時
場所 山武福祉センター(山武市埴谷1868-14)
参加費 500円(茶菓代として当日頂きます)
申込締切 7月25日(水)

《参加申込み・問合せ先》 山武市社協 山武連絡所内
介護サービスセンター ☎0475(89)2111

*遠くの方でもご参加いただけるよう、当日は送迎車をご用意します。皆様の参加をお待ちしております。

心配ごとと相談所開設日程

一般相談 「心の中の心配ごと」何でも相談してください。

●開設時間/午後1時30分～午後4時30分
(予約は必要ありません。受付は4時までです。)

場所	第1火曜日	第2火曜日	第3火曜日	第4火曜日
実施月	山武会場	成東会場	松尾会場 山武会場	蓮沼会場
7月	3日	10日	17日	24日
8月	7日	14日	21日	28日
9月	4日	11日	18日	25日

弁護士相談 法律的な悩みは、こちらで相談してください。

●開設時間/午後1時30分～午後4時30分
(予約が必要です。)

場所	第1水曜日	第2水曜日	第3水曜日	第4水曜日
実施月	蓮沼会場	山武会場	成東会場	松尾会場
7月	4日	11日	18日	25日
8月	1日	8日	15日	22日
9月	5日	12日	19日	26日

開設場所 成東会場：成東老人福祉センター 松尾会場：松尾ふれあい館
山武会場：山武福祉センター 蓮沼会場：蓮沼中央会館

予約
問合せ先

山武市社会福祉協議会
☎0475(82)7102

あ と が き

梅雨が明けると、いよいよ夏本番。昨年に引き続き、節電に心がけてまいりましょう。

昨年来、こんなにも大災害が続くのかと思うほど地震、津波、豪雨、雷、竜巻が起き、いまだかつてないほどの被害がでています。そして、放射能汚染で、今もお避難生活を続けられている方々も多いことに心を痛めています。

南関東は、今後30年以内に、マグニチュード7以上の大地震が起ると予想されています。私たち一人ひとりが、まず自分の身を守ることでできる防災の備えを万全にしていきたいものです。そして、身近な地域の中で、災害があった時に助けが必要な方には、日ごろから声をかけ、共に助け合う心を広げていきたいと思います。(佐々木)

社会福祉法人 山武市社会福祉協議会
〒289-1306 山武市白幡1627(成東老人福祉センター内)
電話:0475(82)7102 FAX:0475(82)7318
Eメール:sammushakyo@etude.ocn.ne.jp
ホームページアドレス:http://sammushakyo.sakura.ne.jp

人口
動向

市の人口 56,354人
男 28,106人
女 28,248人
65歳以上 14,790人
男 6,416人
女 8,374人

高齢化率
26.2%
(前回より0.3%増)
平成24年6月1日現在



山武市社会福祉協議会は、この冊子の印刷プロセスで使用する7.01kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、従来の印刷と比較した場合、電力量110.96kWhを削減しました。
山武市社会福祉協議会は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・リ州の森林再生事業(国立公園内の植樹3,000本)に参加しています。

当印刷は株式会社日本スピードエナジーが印刷業務を受託し、公正に審査・確認して与えられたものであります。

